

子ども発達学科教授 中嶋 理香

1. 研究活動

論文 ダウン症乳幼児の発達評価 — 哺乳・離乳支援のために —	2016年3月	名古屋芸術大学研究紀要 第37巻	27名のダウン症の乳児に対して、KIDS乳幼児発達スケールを月に1度、離乳指導時に行い、発達月齢を2015年8月まで記録した。その結果、乳児期ダウン症の発達経過は、3群に分けることができた。発達上位群は、定型発達の約70%の発達、中位群は、定型発達の50%～60%の、下位群は約30%であった。KIDSの下位領域で、個人差の少ない領域は運動発達領域であった。したがって、離乳指導を行う際に、個人差の小さい運動発達を手掛かりとすることの有効性が示唆された。
---------------------------------------	---------	---------------------	---

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目名 教育相談		
<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
学生は、現実には起こっていることを学びに自ら取り入れることができなくなっている。教育相談では、実際に今、起きていることに目を向けることを学生が理解するように、毎時間「新聞の切り抜き」で解説を行った。	毎時間 いじめ、非行、貧困、虐待などの新聞記事を講義の前に解説。	

3. 学会等および社会における主な活動

(社会活動)		
平成27年度 愛知県現任保育士研修講師	2015. 8	乳児期の子どもの発達と子どもの理解・援助の視点について講義を行った
平成27年度 姫路獨協大学 指導者会議 講演	2016. 3	リハビリテーションに携わる医療現場で勤務する言語聴覚士、理学療法士、作業療法士に対して、「子どもの今日の話題」という題で講演